

令和元年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

2年

教科	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
国語	<p>○文章に書かれている大事な言葉や内容を正しく読み取る力を育てる必要がある。</p> <p>○身近なことなどについて、相手に応じて話す力・聞く力を身に付ける必要がある。</p>	<p>○正しく音読したり、語としてのまとまりを意識して読んだりできるようにする。</p> <p>○事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさずに聞く能力を育てる。</p>	<p>○音読に力を入れ、音読集や音読カードを活用する。保護者と連携を図って、家庭でも日常的に練習できる環境を整える。</p> <p>○区立図書館や学校司書などと連携し、教科書教材に関連した本などを随時紹介する。</p> <p>○独話や対話、グループでの話型を示す。</p> <p>○事柄の順序を意識したり、話題に興味をもって集中したりして聞けるようにワークシートなどを工夫する。</p> <p>○授業でペア学習や学び合い</p>	<p>○日々の音読の継続によって、文中の大事な言葉を素早く見つけられるようになり、順序に気をつけながら文章の内容を読み取れるようになった。</p> <p>○区立図書館や学校図書館支援員と連携し、教科書教材に関連した本を紹介したり、読み聞かせたりすることで、読書生活を楽しむ姿勢が身についた。</p> <p>○事柄の順序を意識して説明することや、音読発表会、グループ発表会を通して、話す力・聞く力が伸びた。接続詞を表記したワークシートの積極的な利用により、事柄の流れが確認できた。</p> <p>○ペアやグループでの話し合</p>

	<p>○分かりやすい文章を書く力を育てる必要がある。</p> <p>○漢字の読み書きでは、読みかえや送りがなを正しく身に付ける必要がある。</p>	<p>○順序よく文章を書くため、メモや文章の組み立ての仕方を理解する。</p> <p>○学年別配当漢字の読み書きを確実に身に付けられるようにする。</p>	<p>タイムを設ける。</p> <p>○学級活動の時間などに、自分の考えを発表したり友達の発表を聞いたりする機会を設ける。</p> <p>○いろいろな形式の文章を書く機会を設け、読み合う。</p> <p>○漢字の書き順のきまりをおさえ、読みかえの漢字や熟語について繰り返し指導する。</p>	<p>いを授業内で積極的に取り入れたことによって、友達の考えを聞く力やわかりやすく伝える力がついた。</p> <p>○日記を書いたり、作文の書き方を学習したりして、個々の書く力が伸びてきた。</p> <p>○漢字を覚えていても使うことにはまだつながっていないので、作文指導時などに伝えていく。</p>
算数	<p>○筆算では、繰り返し・繰り返し下がり仕組みが説明でき、正しく計算できるようにする必要がある。</p> <p>○文章題では、演算決定や立式、答え方を正しくできるようにする必要がある。</p> <p>○身の回りのものの長さ・かさなどの量感を育て、活用できるようにする必要がある。</p>	<p>○第1学年での学習内容を含め十進数の仕組みや加減の方法などの基本を繰り返し指導する。</p> <p>○式の意味や、筆算との関係を理解させる。</p> <p>○単位の仕組みや測定する用具の正しい使い方を理解させる。</p>	<p>○習熟度別指導体制を取り入れる。</p> <p>○立式の際、絵や図を活用する方法を指導する。</p> <p>○具体的な操作活動をする機会を多くし、適切な単位で測定したり、単位同士の関係を理解したりできるようにする。</p>	<p>○早期から(春の運動会后)、習熟度別指導体制を取り入れることによって、各自の学びやすいペースで学ぶことができた。</p> <p>○テープ図で表す便利さを伝え、かき方を丁寧に指導したことで、立式の仕方が身についてきている。</p> <p>○ものさしや自作のテープものさしの活用で、身近な物や学校内の測定を十分にさせた。また、自分の体の長さを知ることで、量感が次第に身</p>

	<p>○乗法では、その式が立つ意味理解を十分させた上で、九九を定着させたい。</p>	<p>○身の回りのものの長さ・かさなどの量感を養う。</p> <p>○乗法の使われる場面、使えない場面を弁別できるようにする。</p>	<p>○身の回りで使われている単位やその長さ・かさなどを適宜紹介し、意識付けを図る。</p> <p>○身の回りのものの長さ・かさの見当をつけさせ、測定する活動を随時取り入れる。</p> <p>○乗法の意味理解のための操作活動と九九の反復練習をする。</p>	<p>につきつつある。単位の換算は、プリント等で補ったが、さらに指導していく。</p> <p>○習熟度別指導体制により、乗法の習熟が図れた。個別対応で反復練習をしたことで、多くの児童が九九テストに合格できた。</p>
生活科	<p>○日常的に植物や生き物に触れる機会が少ない。</p>	<p>○野菜を育てる活動を通して、その変化や生長の様子に関心をもつ。</p> <p>○動物と触れ合う活動を通して、生きものに関心をもつ。</p>	<p>○生活科カードを活用し継続して観察することによって、様々な野菜の変化に気付いたり、育てる喜びを表現したりできるようにする。</p> <p>○校外学習で動物園に行く機会を生かし、小動物とふれあ</p>	<p>○年間を通して、様々な野菜を栽培することで、生長の様子や変化に気付き、絵や文でその様子を分かりやすく表現できるようになった。</p> <p>○野菜ソムリエさんを招き、野菜についての授業を行っていただくことで、初めて知る野菜から興味・関心を広げたり、慣れ親しんだ野菜についてより詳しく学んだりすることができた。</p> <p>○動物園でのスタンプラリーなどを通して動物を身近に</p>

	<p>○地域の施設やそこで働く人々についての理解を深めたい。</p> <p>○自分の成長を振り返り、できるようになったことや身近な人々とのかかわりに気付けるようにしたい。</p>	<p>○地域の施設やそこで働く人々について、その役割や仕事について理解を深める。</p> <p>○地域の施設やそこで働く人々が自分の生活を支えていることに気づき、地域に親しみや愛着をもてるようにする。</p> <p>○自分の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、今後の学校生活に希望がもてるようにする。</p>	<p>うきっかけを作るようにする。</p> <p>○「町たんけん」で公共施設の見学を行ったり、そこで働く人にインタビューしたりする機会を設ける。</p> <p>○「町たんけん」で分かったことと自分の生活を結びつけて考えられるように発問などを工夫する。</p> <p>○地域の施設やそこで働く人々についてまとめ、発表する機会を設ける。</p> <p>○これまでの自分について家族や身近な人々にインタビューする活動を行い、自分の成長や様々な人とのかかわりに気付けるようにする。</p>	<p>感じ、生命ある生き物を大切にしている態度が育ってきた。</p> <p>○千石図書館、千石西児童館、簸川神社などの見学を通して、地域の施設やそこで働く人々についての理解を深めることができた。</p> <p>○町探検で行った場所に、放課後や休日などに訪れる児童が増えた。</p> <p>○地域の方々とのふれ合い給食では、地域の人々に親しみをもって接していた。</p> <p>○家族へのインタビューで自分の成長について聞き取り、意欲的にアルバム作りに取り組むことができた。</p> <p>○自分の成長を支えてくれた人々（主に家族）に感謝の気持ちを表すことができた。</p>
<p>体育</p>	<p>○いろいろな運動やゲームに取り組み、日常的に体をきたえるきっかけを作りたい。</p>	<p>○体作りの基本的な運動をはじめ、器具を用いた多様な運動遊びができるようにする。</p>	<p>○体育の授業をもとに、ジョギングタイム・体育朝会などを有効的に活用する。</p> <p>○学習カードを活用し、運動を習慣付ける。</p>	<p>○ジョギングタイムでは、多くの児童が積極的に参加し、体力向上に努めることができた。</p> <p>○それぞれの運動において、学</p>

	<p>○安全に気を付け、勝敗を受け入れて仲良く運動ができるようにする必要がある。</p>	<p>○ゲームのきまりや役割の大切さについて考え、勝敗を素直に認めることのよさに気付く。</p>	<p>○自分の力に合っためあてや場を選択して取り組めるように、運動のしかたをより具体的に示すようにする。</p> <p>○振り返りカードに協力したり工夫したりできたりしたかななどを問う項目を用意する。</p>	<p>習カードを用いることで、めあてをもって活動に取り組む姿が見られた。</p> <p>○振り返りカードの用いることで、1時間ごとの振り返りを積み重ねることができた。カードの内容を低学年という発達段階に合わせて、考えていく必要がある。</p>
--	--	--	--	---